

むらさきそう

西東京市立田無第一中学校
校長 辻 康一

（住所）西東京市南町6-9-37 （電話）042-462-2811

カラー版はホームページで

URL <https://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi1/>



目標の達成を信じる

私はこの1年間、折にふれて目的や目標、それらを達成することの大切さを伝えてきました。生徒のみなさんは、自分で立てた目標を達成することはできたでしょうか。もちろん、達成できたという人もいるでしょうが、残念ながら達成できなかったという人もいるでしょう。そこで考えてほしいのが、目標が達成できなかった理由です。当たり前ですが、目標は立てただけでは達成することはできません。目標を達成するには行動することが大切で、以前にはケンタッキー・フライド・チキンを作ったカーネル・サンダースさんの話も紹介しました。では、生徒のみなさんは自分で立てた目標を達成するために、何か行動をしたでしょうか？ また、どれくらい本気で行動したでしょうか？ もしも普段は目標のことを忘れていたり、覚えていてもあまり本気にならなかったりしたことが理由だとしたら、もう一度自分自身を振り返って、よく考えてみてほしいのです。

昭和から平成にかけて活躍した宇野千代さんという作家がいます。彼女は有名な『おはん』という小説を書いた後、小説が書けなくなったことがあったそうです。そこで「自分は、もう小説に書くことがない。そういう年になってしまったんだ」と17, 8年間も文章を書かずに過ごしました。そんなある日、「できないと思うものはできない。できると信じることはできる」という言葉に動かされ、それなら、書けると信じれば書けるようになるのだらうかと考え、ほんの2, 3行だけ書いてみたら、なんと書けたのです！ そこで、1枚書いたら、また書ける。書けないのは、書けないと思ったからなのだ、書けると信じれば書けるのだと確信した宇野さんは、その日からまた書けるようになったのだそうです。

現実的にはすべての目標が固く信じれば達成できるわけではありません。けれども、固く信じて疑わないほど日頃から強く心に留めていれば、それを達成するための行動にもおのずと真剣さが増すのではないのでしょうか。

1年間を振り返って、自分が目標に向かってどれだけ信じて取り組んだかを見つめなおしてください。そして、それほど本気で取り組んでこなかったのならば、もう一度「きっとできる」と固く信じてチャレンジしてみるとよいと思います。

もう来月は、それぞれが新しいステージに立つことになります。新たな場所で新たな一步を踏み出す前に、しっかりと自分の目標を見据え、達成を信じて歩き出すことを願います。

【全学年】 展示会（3月5日～8日）

3月5日～8日の4日間、総合的な学習や教科の成果を発表する場として展示会を開催しました。

お互いの作品を生き生きとした目で鑑賞する生徒の姿が見られ、学校全体が活気ある雰囲気になりました。この展示会を通して、学習に対する意欲や挑戦していく姿勢が高まったようです。

また、多くの保護者の方々にもご参観いただき、「生徒たちの作品に対する思いや表現を見て成長が感じられる素晴らしい機会だった」とのお声をいただきました。保護者の皆様には、これからも生徒の成長を見守り応援していただければ幸いです。



【全学年】 1－1グランプリ（3月12日～17日）

3月12日（水）～17日（月）に、生徒会主催の「1－1GP（ワンワングランプリ）」を行いました。「1－1GP」とは、生徒の特技や鑑賞を通して個性の尊重を図り、一人一人が輝ける場を設ける場として展示部門と舞台発表部門を行っています。展示部門では、個々で作成したクオリティーの高い作品や部活動の仲間と協力して作成した作品が展示されました。舞台発表部門では、歌やピアノの演奏、ダンスが行われ、会場は熱気に包まれました。個性を伸ばして、自らの感性や考え方を広げるきっかけになれば幸いです。



【1年生】 球技大会（3月12日）

1年生では3月12日（水）に球技大会を実施しました。競技はクラス対抗のドッジボールになり、最終戦まで勝敗がわからない、手に汗握る接戦が繰り広げられました。生徒たちは事前の体育の授業で練習を行い、友達と話し合いを重ねながら作戦を立てて当日に臨みました。試合では温かい声援が飛び交い、白熱した中でもフェアプレーが随所に見られ、また、実行委員が中心となって大会の企画や準備を行うなど、多くの場面で生徒の成長を感じた大会となりました。

1年生としての学校生活は残り数日となりました。様々な思いを抱いて入学してから1年が経とうとしています。縁あって同じクラスになった仲間と最後の思い出作りになればと思います。

